

諸般の行政報告

■任意の風しん予防接種費用助成 現在、首都圏を中心に風しん患者が急増し、千葉県でも6月2日までに、昨年1年間の4.6倍の患者が報告されており、昨年の同時期との比較では74倍となっています。本市を管轄する習志野保健所管内は、県下でも千葉市、市川保健所管内に次いで患者報告数が多い地域となっています。

風しんは、免疫のない女性が妊娠初期にかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患、白内障を主症状とする先天性風しん症候群にかかるおそれがあります。

このような状況の中、先天性風しん症候群の発生を予防するための緊急対策として、任意の予防接種である風しん予防接種費用の一部を助成することにしました。対象者は、妊娠を予定または希望している女性とその夫及び妊婦の夫で、対象となる接種期間は、25年4月1日から26年3月31日までの1年間です。助成限度額は、風しん単独ワクチン接種が3,000円、麻しんと混合ワクチン接種が5,000円です。5月末現在での申請件数は259件となっています。

■市民会館リニューアルオープン後の利用状況 市民会館の施設予約は、24年11月15日から使用月ごとに順次再開し、4月8日から貸し出しを開始しましたが、リニューアルオープン後の大ホールの稼働率は、改修前の23年度と比較すると、4月は16パーセントから44パーセントに、5月は28パーセントから35パーセントに上昇しています。※市民会館のリニューアルオープン、4月6日のリニューアル記念式については、広報やちよ3月15日号、5月1日号に掲載

■東日本大震災に伴う、り災証明発行など 一般家庭の住家被害は、5月末現在で「り災証明書」の発行件数が1,472件で、前回定例会で報告した1月末時点から「一部損壊」が6件の増となっています。市役所で受け付けた義援金の状況は、5月末現在で1,238万6,359円となり、前回定例会で報告した1月末時点から6万1,065円の増となっています。

■東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質調査 市内の空間放射線量の自主測定は、今年度策定した第4期測定計画に基づいて実施します。第3期測定計画と同様に市内7つのコミュニティごとに3施設ずつを選定した22施設を定点測定箇所として、3か月に1回定

期的に測定します。また、小池、もえぎ野、勝田台の3地区を対象に、詳細測定を引き続き4か月に1回行うほか、各施設管理者による測定や市民の要望に基づく測定を行っています。

5月の定点測定結果は、22施設110地点において地表0.5及び1メートルで毎時0.05から0.19マイクロシーベルトの範囲であり、2月から5月の施設管理者により実施した公園や小学校等22施設の測定結果は、地表0.5及び1メートルで0.05から0.22マイクロシーベルトの範囲であり、環境省令に規定する除染実施計画を定める区域の要件である毎時0.23マイクロシーベルト以上の放射線量を検出した箇所はありませんでした。

調整池は、大和田新田160の6地先の調整池周辺で地表1メートルの測定値が0.10から0.28マイクロシーベルトの範囲で放射線量が検出されました。毎時0.23マイクロシーベルトを超えていたことから、堆積土も測定したところ、基準値を超えていたため、除染作業を実施しました。除染実施後に放射線量を測定したところ、毎時0.23マイクロシーベルトを下回っています。

また、5月に上下水道局が管理する48調整池において放射線量の測定を実施しましたが、毎時0.23マイクロシーベルトを超えた施設はありませんでした。今後も測定計画に沿って、定期的に測定を実施します。

■清掃センターにおける放射性物質の測定結果 焼却灰1キログラム当たりの放射性セシウム濃度は、3月と5月の測定結果で、いずれも国の埋め立てに関する基準1キログラム当たり8,000ベクレルを下回っています。2月から5月に測定した焼却炉の排ガス、最終処分場周縁の地下水、浸出水処理施設の放流水の放射性セシウム濃度及び敷地境界での空間放射線量の測定結果も、それぞれ基準値以下となっています。

今後も引き続き、測定・モニタリングを行い、適正な廃棄物処理を行います。

■空間放射線量計の貸し出し 市民及び市内の事業者などを対象に、24年3月5日から貸し出しを開始し、24年3月31日までに118件、24年度は、472件の貸し出しを行いました。今年度は、5月31日までに24件の貸し出しを行っています。

■側溝汚泥の一時保管 24年1月1日に施行された「放射性物質汚染対処特別措置法」により、放射性セシウム濃度が1キログラム当たり8,000ベクレルを超える廃棄物は、環境大臣が指定し、国の責任により処理することとされました。

本市では、側溝清掃によって発生した土砂を

回収し、セシウム134及び137の濃度を測定しています。測定の結果、8,000ベクレルを超えるものは、法の規定による廃棄物の指定を受け、清掃センター敷地内に設置した側溝汚泥一時保管場所に、国が示す「保管に関するガイドライン」に基づき、適切に保管しています。指定廃棄物の一時保管は、国と指定廃棄物保管業務委託契約を締結し、23年12月から実施しています。保管量は、3月末現在で、8,000ベクレルを超えるものが54.44トン、8,000ベクレル以下のものが106.7トンとなっています。一時保管場所の空間放射線量は、周囲5か所を定期的に測定しており、5月の測定結果は、毎時0.086から0.112マイクロシーベルトの範囲となっています。8,000ベクレル以下のものは、指定廃棄物とはなりません。現在、従来の中間処理施設による処理ができないため、暫定的に側溝汚泥一時保管場所内に保管し、処理先を探しているところです。

■財団法人八千代市環境緑化公社の公益財団法人への移行 財団法人八千代市環境緑化公社は、3月に千葉県の認定を受け、4月1日付けで公益財団法人八千代市環境緑化公社として登記されました。

■勝田台中央公園のリニューアルオープン 広報やちよ3月15日号に掲載

■城橋側道橋の供用開始 広報やちよ5月1日号、5月15日号に掲載

■やちよ農業交流センターの開館 広報やちよ3月15日号、5月15日号に掲載

■八千代台東小学校及び八千代台東第二小学校の統合 八千代台東小学校と八千代台東第二小学校の統合は、八千代市学校適正配置検討委員会第二次答申を踏まえた統合基本方針に基づき、検討及び準備を進めてきました。4月9日に開校式を終え、19学級でスタートし、現在は旧八千代台東第二小学校の校舎を使用して、順調に教育課程を実施しているところです。統合により、児童の通学範囲が広がることから、徒歩による通学に加え、遠方の児童については、コミュニティバスを利用した通学支援や、高学年児童は自転車による通学を行っています。通学時には保護者や地域のボランティアの方々、スクールガード、教職員が協力しながら児童の通学の安全を確保しています。

■バンコク子ども親善大使の来訪 広報やちよ7月1日号に掲載

■学校給食センター西八千代調理場の運用開始 広報やちよ4月15日号に掲載

募集 懇話会・懇談会の市民委員

いずれも選考方法は書類選考。応募書類は返却しません。選考結果は応募者本人に通知します。個人情報保護・管理に十分留意し、選考以外に使用しません。提出書類に虚偽の記載が認められた場合は、委員就任後であっても委嘱を取り消すことがあります。

■やちよ男女共同参画プラン懇話会

市の男女共同参画社会づくりについて協議する「やちよ男女共同参画プラン懇話会」の市民委員を募集します。

▼資格 市内在住の成人で、年1回程度、平日昼間の会議に出席できる人。本市の審議会などの委員を5つ以上兼ねていない人

▼募集人数 5人 ▼任期 25年10月1日から2年間 ▼報酬 会議1回につき6,000円 ▼応募方法 任意のA4サイズの用紙に住所、氏名(フリガナ)、電話番号、生年月日、性別、主な職歴と現在の職業、ボランティアや男女共同参画に関する活動経歴、応募の理由を書き、「八千代市の男女共同参画に期待すること」と題した800字程度の作文を添付して、〒276-0033八千代台南1-11-6男女共同参画課へ郵送、持参、またはメール①danjo@city.yachyo.chiba.jpへ。8月15日(木)必着 ▼問い合わせ 男女共同参画課(4805)70088

■八千代市観光振興懇話会

市の観光施策の総合的な推進に関する重要事項を調査、検討するため、観光振興懇話会の市民委員を募集します。

▼資格 市内在住の成人で、年に数回、平日昼間の会議に出席できる人。本市の審議会などの委員を5つ以上兼ねていない人 ▼募集人数 2人 ▼任期 25年9月初旬から2年間 ▼報酬 会議1回につき7,000円 ▼応募方法 任意のA4サイズの用紙に、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、年齢、性別、主な職歴を書き、「八千代市の観光」と題した1,000字程度の作文を添付して、〒276-18501市役所産業政策課(484)8824へ郵送、ファクス、持参、またはメール②sangyou2@city.yachyo.chiba.jpへ。8月14日(水)必着 ▼問い合わせ 産業政策課観光推進室(483)1151(代表)

8月6日(火)に「黙とうと献花の集い」を市民会館で実施

原爆犠牲者のご冥福と恒久平和を祈念し、誓いを新たにすため、広島原爆投下時刻に合わせ、黙とうと献花を行います。

▼日時 8月6日(火)午前8時から ▼場所 市民会館平和祈念碑前(雨天時は同館ホワイエ) (国際推進室)



▲2年ぶりに市民会館で実施